


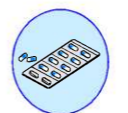




食道がん 化学療法 (FP:シスプラチン+5-FU療法) 入院診療計画書 6泊7日 初回・反復

腫瘍内科

様

ID:

GG0A8Y87

経過 月日	外来から入院まで	入院日・治療1日目	治療2日目	治療3日目	治療4日目～7日目・退院指導
アウトカム	治療について理解することができる。	治療内容・副作用を理解し安全に治療を受けることができる。	副作用について理解でき、対策がとれる。		次回治療の準備ができる。
治療・検査	<ul style="list-style-type: none"> 治療を行うため、いくつかの検査を行います。(採血、レントゲン・CT検査・エコーなど) 外来で採血、診察をしてから入院となります 	<ul style="list-style-type: none"> 水分の点滴が入ります。(約6時間) 腕から点滴している患者様は点滴穿刺部の痛み・発赤・違和感・腫れが出現した場合すぐに看護師にお知らせ下さい。 皮膚の赤み・かゆみ、気分不快のあるときもすぐにお知らせ下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめに吐き気止めの点滴を行います。続けて治療の点滴を行います。 24時間持続で4日間点滴治療を行います。 		<p>治療開始6日後点滴終了予定です。症状をみて点滴の針を抜きます。</p>
薬	<ul style="list-style-type: none"> お薬手帳を持参し、看護師へお渡しください。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で薬を管理する事が難しい方はお申し出ください。 医療用麻薬を内服されている方は看護師からの配薬になります。患者さんによっては自己管理の場合もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気、嘔吐のある時は、お薬を使用します。 下痢のある場合は、整腸剤を使用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気止めの薬を朝・昼と内服して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師からのお薬の説明があります。 ※土、日曜日の急な退院の際は対応しかねます。 治療のお薬によっては、下痢をしやすい場合があります。医師や薬剤師の説明を十分にお聞きになり、自宅での内服調整を行って下さい。 医療用麻薬を内服されている方は、便秘に十分注意しましょう。2～3日に一度はお通じがあるように調整しましょう。 化学療法後、白血球が少なくなりますので、感染予防のため、うがい、手洗い、マスクの着用をお願いいたします。体調が悪いと感じた時は、人混みを避けて下さい。
食事や生活		<ul style="list-style-type: none"> 食事に制限はありません。食欲や症状に合わせ食事変更できますのでお声がけ下さい。食欲のない患者様には、特別食を提供しております。 特に安静度の制限はございませんが、点滴治療中はなるべく静かにお過ごし下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 午前中に清拭タオルをお渡しします。 点滴治療にて食欲がなくなります。食欲ない時は、特別食に変更しますのでお声掛けください。 点滴の途中で、入浴もできますので看護師にご相談ください 		
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院前に病状、検査、治療の説明を行います。 治療の際には同意を確認し同意書にサインしていただきます。 入院後の生活について説明いたします。 入院証書、病衣依頼書をお持ち下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 入院時に書類を確認いたします。 薬剤師による治療薬の説明があります。 入院時から毎日体重測定、尿量測定を行って頂きます。記入用紙をお渡しいたしますので、記入をお願いいたします。 治療費が高額になる場合がありますので、ソーシャルワーカーにご相談いただけますので、お声がけください。 その他の症状、特に体の痛み、食欲がないなど困ったことがあれば、入院時看護師にお話下さい。‘わたしのカルテ’という手帳をお渡ししますので、ご自分の体調管理にお役立てください。 特別な栄養管理の必要性(有・無) かぜを引いている方の面会は、お断りさせていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿が出ずらい場合、また、むくみを感じたらお声掛けください。 末梢神経障害(手足・口のまわりのしびれ・ちくちくする等)は寒冷の刺激で誘発されます。エアコンなどの冷気に直接あたらない、冷たいペットボトルに触れないようにしましょう。手洗い・家事の時はぬるま湯を使用して下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> 以下の症状のある時は病院に連絡して下さい。 ◎発熱: 38度以上が2日以上続いている。 ◎下痢: 1日の排便回数が7回以上である。 ◎吐き気、嘔吐: 1日に6回以上吐いている。 ◎食欲: 食欲がなく、水分も摂取できない。 ◎皮膚の異常: 点滴したところが痛い、また赤く腫れている。 ◎むくみ: 急激な体重増加やむくみがでてきた。 ◎口内炎: 痛みがあり粘膜がただれ、出血している。 平日: 8:30～17:00 腫瘍内科外来 症状のあるときは、平日日中に連絡をしていただくと担当医に繋がり、指導を受けることができます。 土日・祝日・夜間: 診療時間外は一般外来は休診ですので、必要時は救急外来で対応いたします。

◎入院時、本紙を忘れずにお持ちください。入院後もこの用紙にて説明いたします

注1: 病名などは、現時点で考えられるものであり今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2: 入院期間については現時点で予想されるものです。

2017年1月 改訂

担当医師: _____
 担当看護師: _____

患者様署名: _____

